

環境経営方針

<基本理念>

地球温暖化の影響と言われる昨今の異常気象により、国内外では毎年大規模な自然災害が発生しています。CO₂など温室効果ガスの発生抑制は、個人・企業・団体・政府機関を問わず全ての人々が「自分ごと」として向き合わなければならない深刻な問題です。

私たちはトヨタグループの一員として、地球環境問題を重要な経営課題の一つと認識すると共に、事業活動によって生じる、様々な環境負荷を低減する活動を率先して行い、SDGsへの取り組みを通じて持続可能な社会の実現を目指します。

<基本方針>

1. 事業活動において、環境に与える影響を把握し、環境目的・目標を定めて、環境改善活動に取り組めます。
2. 関連する法令・条例・規制・協定及び自主基準を順守します。
3. 事業活動が環境に与える以下の項目を継続して取り組めます。
 - 1) CO₂排出量削減のため、電力、燃料などのエネルギーを効率的に使用し、省エネ活動に取り組めます。
 - 2) 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を活用した廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 水の有効利用に努め、水道使用量を削減します。
4. 環境汚染リスクを把握すると共に、環境事故発生防止と緊急対応スキームを構築し、汚染を予防します。
5. 職場の安全確保・作業精度および生産性向上に取り組めます。
6. 全従業員に環境教育を計画的に実施し、環境に配慮した行動の定着を目指します。
7. CSR自主点検及び内部監査の実施により環境マネジメントシステム(EMS)の維持向上を図ります。
8. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、社会貢献および地域の環境保護活動に協力します。
9. 環境経営方針は、支社内に周知徹底すると共に、支社ホームページにおいて社外に開示します。

2023年4月1日
トヨタモビリティパーツ株式会社
東京・山梨統括支社
統括支社長 河野 晋哉